

令和4年2月17日

「デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'21/第27回 AMD アワード」で、
香川大学の応募作品「e かみしばいコンテスト ～まちのデータ地図ちーず～」が、
リージョナル賞を受賞しました！！

香川大学/e かみしばいコンテスト実行委員会が運営し、情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)、日本電気株式会社、高松市、スマートシティたかまつ推進協議会が共同参画する、市民協働による地方創生・地域活性化事業「e かみしばいコンテスト ～まちのデータ地図ちーず～」(代表：香川大学創造工学部講師/e かみしばいコンテスト実行委員長 米谷雄介)が、デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'21/第27回 AMD アワードで、リージョナル賞を受賞しました。授賞式は3月14日(月)に予定されています。

また、下記の関連イベントを開催します。四国の地域活性化、住民のデジタルリテラシー向上の取組みとして、地域住民とともに地域アプリやe かみしばいを制作し、地域の魅力を向上させます。

報道の皆様には是非、取材いただきますよう、よろしくお願いします。

★関連イベント★ 2月19日(土) 「令和3年度まちのデータ研究室」 場所:情報通信交流館

2月20日(日) 「e かみしばい作成ワークショップ」 場所:多肥コミュニティセンター

講師・アシスタント:香川大学創造工学部 米谷雄介、学部生7名

【第27回 AMD アワード授賞式】

日時:3月14日(月)16:30～(開場 16:00)

場所:明治記念館 2F「富士の間」(東京都港区元赤坂)

※ 詳細は一般社団法人デジタルメディア協会のプレスリリース(別添1)をご確認ください。

【AMD アワード・リージョナル賞とは】

毎年過去1年間に発売または発表されたデジタルコンテンツの中から優秀作品またはサービスを審査の上、選定し、その制作者個人あるいはグループの功績を讃えるものです。リージョナル賞は、地域に根ざしたデジタルコンテンツやサービスの中で、最も優れた功績を挙げた人物・団体に授与されます。

【第27回 AMD アワード受賞者一覧】

■ リージョナル賞

作品名: e かみしばいコンテスト ～まちのデータ地図ちーず～

受賞者: 香川大学創造工学部 講師/e かみしばいコンテスト 実行委員会実行委員長 米谷雄介

■ 江並直美賞(新人賞): 受賞者 Ado

■ 功労賞: 受賞者 株式会社刀 代表取締役 CEO 森岡 毅

■ 年間コンテンツ賞「優秀賞」

作品名/団体名	受賞者/制作・関連会社等	作品名/団体名	受賞者/制作・関連会社等
いらすとや	みふね たかし	新宿東口の猫	株式会社クロススペース/ 株式会社オムニバスジャパン・株式会社ユニカ
ウォーリー木下	ウォーリー木下	東京リベンジャーズ	株式会社講談社 アニメ「東京リベンジャーズ」製作委員会/ 株式会社ライデンフィルム 映画「東京リベンジャーズ」製作委員会/ 株式会社フジテレビジョン
ウマ娘 プリティーダービー	株式会社 Cygames	日本沈没ー希望のひとー	株式会社 TBS テレビ
最愛	株式会社 TBS スパークル 株式会社 TBS テレビ	歌姫 Belle (竜とそばかすの姫)	Belle (中村佳穂)
THE FIRST TAKE	THE FIRST TAKE	放送番組のインターネット同時配信等に 係る権利処理の円滑化に関する制度改正	文化庁
シン・エヴァンゲリオン劇場版	株式会社カラー		

■ 「e かみしばいコンテスト ～まちのデータ地図ちず～」について

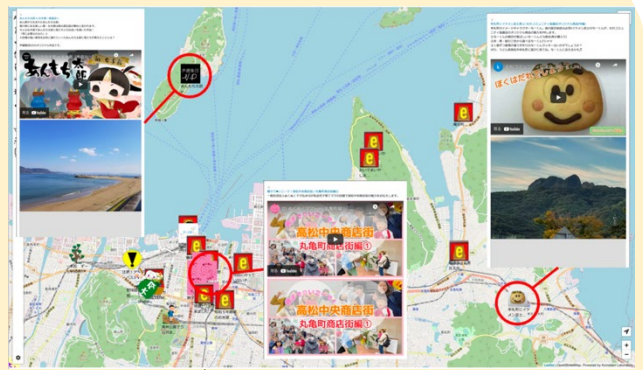
「e かみしばい」とは、誰もが簡単に作成ができる紙芝居動画であり、外国人や高齢者等、幅広い地域住民の参加を可能にし、誰もが情報発信可能な環境の提供及び住民のメディアリテラシーの向上に寄与しています。「e かみしばい」の題材は、「伝えたい四国の魅力」として地域に伝わる伝説や昔話、観光地や地域スポットを紹介することとしています。

「まちのデータ地図ちず」は、「e かみしばい」をジャンル分けして掲載することで、地域の小さな話題も魅力あるコンテンツとして育成しています。ネット地図上の情報発信により、地域住民や地元企業等を巻き込んだ人と人との交流の場を生み、地域の活性化に貢献します。

○ 「e かみしばいコンテスト ～まちのデータ地図ちず～」の情報

→ <https://chi-zu.org/> または e かみしばいコンテスト 2021 チラシ（別紙2）をご参照ください

○ 「まちのデータ地図ちず」はこちら → <https://komelabo.sakura.ne.jp/chi-zu/app/map/>



e かみしばいコンテスト 2021 の作品例
地域の魅力的なヒトやコトの情報をデジタル化
地域独自のジャンルに分類し地域で活用

■ e かみしばい作成ワークショップの実施について

スマートフォンで撮影した写真を使って、e かみしばいを作ります。アプリを使って、テロップや音楽を入れたりします。香川大学創造工学部の学生が講師を担当し、多肥コミュニティの地域住民とともに多肥の魅力を探求します。

日時：2月20日（日）10：00～11：30

場所：多肥コミュニティセンター（香川県高松市多肥上町）2階ホール

講師：香川大学 米谷雄介、創造工学部情報システム・セキュリティコース学部生5名



ずーちゃん©2020 アトリエのあ

■ 令和3年度「まちのデータ研究室」について

「e かみしばいコンテスト ～まちのデータ地図ちず～」は「まちのデータ研究室」における市民対話から生まれました。地域のステークホルダー（一般市民、行政職員、デジタル人材）が地域の UX（ユーザーエクスペリエンス）向上を目指して、地域の困りごとを解決する地域運営活動や地域運営アプリを研究します。令和3年度は、（1）地域の隠れた魅力を可視化する未指定文化財管理アプリ、（2）様々なヒト・モノ・コトの位置情報を地図上に可視化することによる地域運営効率化アプリ、（3）平時／災害時の共助促進のための地域資源共有アプリを制作し、周辺の地域住民にも共有することでアイデアの有効性を検証し、地域の運営において本当に必要なことは何か？を探求します。

<スケジュール>

○ 2月19日（土）〈第1回〉 パソコンやスマートフォンを使ったアプリ開発に必要な基本的なデータの作り方を学びます。終了後、地域でのアプリ実践を通じてデータを充実させるフィールドワークを行っていただきます。（2月20日（日）～3月11日（金））

○ 3月12日（土）〈第2回〉 それぞれの研究成果を研究室全体で共有してもらいます。

時 間 13:30～16:30（3時間）（※両日とも）

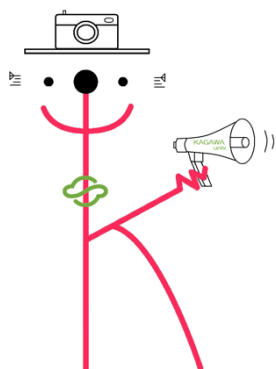
場 所 情報通信交流館（e-とびあ・かがわ）5階 BB スクエア

講師・アシスタント：香川大学創造工学部 米谷雄介

創造工学部情報システム・セキュリティコース学部生7名

※詳細は情報通信交流館のサイト（以下の URL）もしくはチラシ（別紙3）をご覧ください。

https://www.e-topia-kagawa.jp/lecture/machino_data_kenkyushitsu_r3/



内容に関するお問い合わせ先

香川大学 創造工学部 講師 米谷雄介

TEL : 080-3438-5749

E-mail : kometani.yusuke@kagawa-u.ac.jp

※上記不在の場合

香川大学林町地区統合事務センター総務課庶務係

TEL : 087-864-2000

FAX : 087-864-2032

E-mail : shomu-t@kagawa-u.ac.jp



こめたん©2022 mAzuchi

報道関係各位



< 1/4 >

2022 年 2 月 17 日

 一般社団法人デジタルメディア協会
 理事長 襟川 恵子

デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'21/第 27 回 AMD アワード 年間コンテンツ賞「優秀賞」11 タイトルが決定

～「総務大臣賞」と「理事長賞」は、3 月 14 日(月)に発表～

一般社団法人デジタルメディア協会(所在地:東京都中央区、以下 AMD)は、『デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'21/第 27 回 AMD アワード』において、年間コンテンツ賞「優秀賞」11 タイトル、「功労賞」、「江並直美賞(新人賞)」、「リージョナル賞」の受賞作品及び受賞者を決定しました。

なお、「総務大臣賞」及び「AMD 理事長賞」は、「優秀賞」の 11 タイトルの中から選考されます。

< 年間コンテンツ賞「優秀賞」 >

作品名 50 音順

	作品名/団体名	受賞者/制作・関連会社等
1	いらすとや	みふね たかし
2	ウォーリー木下	ウォーリー木下
3	ウマ娘 プリティーダービー	株式会社 Cygames
4	最愛	株式会社 TBS スパークル 株式会社 TBS テレビ
5	THE FIRST TAKE	THE FIRST TAKE
6	シン・エヴァンゲリオン劇場版	株式会社カラー
7	新宿東口の猫	株式会社クロススペース/ 株式会社オムニバスジャパン・株式会社ユニカ
8	東京リベンジャーズ	株式会社講談社 アニメ「東京リベンジャーズ」製作委員会/ 株式会社ライデンフィルム 映画「東京リベンジャーズ」製作委員会/ 株式会社フジテレビジョン
9	日本沈没ー希望のひとー	株式会社 TBS テレビ
10	歌姫 Belle (映画『竜とそばかすの姫』)	Belle (中村佳穂)
11	放送番組のインターネット同時配信等に 係る権利処理の円滑化に関する制度改正	文化庁

本年の年間コンテンツ賞「優秀賞」は、2021 年 1 月 1 日より 12 月 31 日の間に発売・発表された、最新のデジタル技術を駆使して制作された国内のデジタルコンテンツ及びサービスの中から選出されました。

また受賞作品の審査は、審査会《審査員長:夏野剛(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特別招聘教授)》にて審議し決定しています。

■『デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'21/第 27 回 AMD アワード』授賞式

日時 : 2022 年 3 月 14 日(月) 16:30(開場 16:00)

会場 : 明治記念館 2F 「富士の間」(東京都港区元赤坂)

※過去の AMD アワードにつきましては、下記 AMD ホームページをご参照下さい。

※本件に関する受賞理由や概要は別紙の資料をご覧下さい。

< 報道からのお問い合わせ先 >

一般社団法人デジタルメディア協会事務局 担当者:城

〒104-0042 東京都中央区入船 2-4-3 マスダビル 6F

TEL 03-6277-3618 FAX 03-6277-3116

E-mail: jo.rumiko@amd.or.jp URL:https://www.amd.or.jp/



デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'21/第27回 AMD アワード 受賞作品一覧および受賞理由

■年間コンテンツ賞「優秀賞」AMD Award

<作品名 50 音順>

	作品名/団体名	受賞者/制作・関連会社等
1	いらすとや	みふね たかし
	イラストレーターのみふねたかし氏が運営するフリー素材サイト。ほのぼのとした絵柄でバリエーション豊富なイラストが2万5000点以上揃い、商用・非商用を問わず無料で利用できる(利用規約あり)。個人からプロクリエイター、企業、官公庁まで幅広く利用され、今日では日常のさまざまなシーンでそのイラストを見かけるほどに。多種多様なコンテンツの制作をイラスト素材で10年間支え続けた功績を讃える。	
2	ウォーリー木下	ウォーリー木下
	関西小劇場界で20年以上活動し、現在はハイパープロジェクション演劇「ハイキュー!!」などの2.5次元の舞台やミュージカル・コンサートなど幅広い作品を手掛ける演出家であり脚本家。演劇とライブの融合やVR演劇など、従来の演劇の概念を超えた挑戦を続けている。2021年は「東京2020パラリンピック」の開会式を演出。ストーリー性の高さや驚きの演出で、賞賛の声が多くあがった。	
3	ウマ娘 プリティーダービー	株式会社 Cygames
	過去の名馬や実在する競走馬をモチーフにした「ウマ娘」たちが主役を務めるクロスメディアコンテンツ。ゲーム、アニメともに競馬愛が伝わってくる作り込みの深さが評判を呼び、競馬人気の盛り上がりにも大きく貢献。完成度も極めて高く、ゲームは2022年1月時点で1300万ダウンロードを達成。各コンテンツのさらなる発展にも期待を込めて表彰する。	
4	最愛	株式会社 TBS スパークル 株式会社 TBS テレビ
	視聴者が放送とオンラインに広がる状況の中、TBS 金曜ドラマ「最愛」は歴代ドラマの配信記録を塗り替えた。純愛と謎をモザイクのように描くオリジナルストーリーと一瞬一瞬の俳優の演技と巧妙な映像カットがネット上で大きな話題となり、次話への期待を膨らませ、テレビとオンラインの垣根ない盛り上がりを見せた。スタッフ＋キャストの見事なチームワークの緻密さが作り上げた「放送＋配信」における完成度が極めて高く評価された。	
5	THE FIRST TAKE	THE FIRST TAKE
	真っ白なスタジオに置かれた1本のマイクの前での、一発撮りのパフォーマンス。いたってシンプルな試みだが、「THE FIRST TAKE」は私たちにライブの高揚感、そして音楽の力を改めて思い起こさせてくれた。その瞬間のアーティストをとらえたドキュメンタリー映像として、今後貴重なアーカイブとなっていくだろう。	
6	シン・エヴァンゲリオン劇場版	株式会社カラー
	2007年から始まった「エヴァンゲリオン新劇場版」シリーズは「:序」「:破」「:Q」の3作に続き2021年公開の「シン・エヴァンゲリオン劇場版」にて完結した。待ち焦がれたファンが詰めかけ、最終の興行収入は102.8億円、観客動員数は673万人に達した。『シン・エヴァ』は、制作を継続していくことの艱難辛苦、しかしその先に見出される希望までもが全て詰め込まれた、多くの人々の魂を揺さぶる偉大な作品となった。	
7	新宿東口の猫	株式会社クロススペース/ 株式会社オムニバスジャパン・株式会社ユニカ
	新宿駅東口の大型湾曲スクリーンに登場した「3D 巨大猫」。ランドマークキャラクターとして大きな猫がビルに住んでいるかのように設計され、都市に棲息する架空のキャラクターは、日本的な独特のユーモアとして海外メディアでも取り上げられた。DOOH(デジタル屋外広告)の表現に大きな進化をもたらした作品。	
8	東京リベンジャーズ	(株)講談社 アニメ「東京リベンジャーズ」製作委員会/(株)ライデンフィルム 映画「東京リベンジャーズ」製作委員会/(株)フジテレビジョン
	コミックスからテレビアニメ、実写映画へとメディアミックスさせていく中で大ヒットの輪を広げていった様は圧巻。原作マンガは累計5000万部を突破する爆発的ヒットとなると同時に、昨年公開の実写映画は実写による邦画の2021年トップの興行収入を叩き出した。実写及びアニメーションを同時期に展開し、両方ヒットするというのも稀有な例。「いま」を象徴する要素がすべて詰まったヒット作品として高く評価。	

9	日本沈没—希望のひと—	株式会社 TBS テレビ
	日曜劇場「日本沈没—希望のひと—」はドラマの放送と世界配信という日本メディア初の意欲的な試みに挑戦した。放送直後の 0 時から毎週 1 話ずつ世界 190 か国以上に一斉配信し、今後の番組制作とコンテンツ流通の変化を予感し、日本コンテンツの世界発信への新たな形を世の中に示したところを高く評価。	
10	歌姫 Belle (映画『竜とそばかすの姫』)	Belle (中村佳穂)
	「Belle」は細田守監督の最新作『竜とそばかすの姫』の仮想世界で世界の注目を集める絶世の歌姫で、2021 年 7 月の公開以来、映画中はもちろん、現実の NET 上でもその歌声が感動を呼び、国内で興行収入 66 億円の大ヒットを記録。2022 年には英語版の Belle (カイリー・マクニール) として世界デビューを遂げ、世界 108 カ国で配給が決定している。2021 年の日本を代表する新ヒロインとして表彰する。	
11	放送番組のインターネット同時配信等に係る 権利処理の円滑化に関する制度改正	文化庁
	放送同時配信等について放送と同様に権利処理を円滑化し、ネットで活用しやすくする制度改正。放送用とネット配信で別々だった権利処理を円滑化、著作物等の権利者は報酬請求権を得られる。同時配信や一定期間の見逃し配信などで放送番組が活用しやすくなり、「ネット配信では内容差し替え」といったことも改善される。テレビ以外の端末を含む、今後の活用の広がりも注視していきたい。	

■功労賞 Lifetime Achievement Award

受賞者
株式会社刀 代表取締役 CEO 森岡 毅
「USJ」や「ネスタリゾート神戸」に続き、2021 年は集客が落ち込んでいた「西武園ゆうえんち」を西武グループと共にリニューアル、好調な船出を実現。他にも丸亀製麺や投資信託「おおぶね」など、独自の需要予測で事業成長を実現し、斬新かつ独自の発想で、世界へ向けて「コンテンツの力」を発信した功績を称える。

■江並直美賞(新人賞) Naomi Enami Award

受賞者
Ado
謎のベールに包まれた当時高校生の歌が瞬く間に若者たちに愛される歌になった。圧倒的な歌唱力と強烈なメロディ、イラストを駆使した映像は一度でも聞いた者見た者の脳に鮮烈に焼き付くものとなり、デビュー曲「うっせえわ」は SNS を中心に瞬く間に若い人たちに拡散。YouTube とストリーミングの総再生回数は 4 億回を突破し、そのタイトルは新語・流行語大賞のトップ 10 にも選ばれた。その才能と表現力を高く評価。

■リージョナル賞 Regional Achievement Award

作品名	受賞者
e かみしばいコンテスト ～まちのデータ地図ちーず～	香川大学創造工学部 講師/e かみしばいコンテスト 実行委員会実行委員長 米谷雄介
「e かみしばい」及び「まちのデータ地図ちーず」という地域に根ざした新しいデジタルメディア・コンテンツを提供した取組である。「e かみしばい」の題材は「伝えたい四国の魅力」としており、これらの情報発信により地域コミュニティの活性化やシビックプライドの醸成に繋がっている。「まちのデータ地図ちーず」は、「e かみしばい」をジャンル分けして掲載することで、地域の小さな話題も魅力あるコンテンツとして育成している先導的な取組である。「e かみしばい」は、簡単に作成ができるため、外国人や高齢者等、幅広い地域住民の参加を可能にし、誰もが情報発信可能な環境の提供及び住民のメディアリテラシーの向上に寄与している。	

～一般社団法人デジタルメディア協会～

【活動概要】

約 60 社の会員により、コンテンツ分野で活躍するプレーヤーの支援、コンテンツ分野におけるビジネス環境の整備、新たな配信メディアの開拓等、コンテンツビジネスの発展に向けた多様な取組を進めています。AMD は、政府のIT戦略本部や知的財産戦略本部の取組とも歩調を合わせ、より多くの事業者や関係者と共に、一層のデジタルメディア・コンテンツ産業の振興に向けて活動を拡大してまいります。

～デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'21／ 第 27 回 AMD アワード開催概要～

- 名 称：デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'21／第 27 回 AMD アワード
- 主 催：一般社団法人デジタルメディア協会(略称／AMD)
- 後 援：総務省
- 協 賛：株式会社NTTぷらら、株式会社 KADOKAWA、株式会社コーエーテクモホールディングス、株式会社スクウェア・エニックス、セイコーホールディングス株式会社、ソニー・インタラクティブエンタテインメント、株式会社東北新社、任天堂株式会社、株式会社バンダイナムコホールディングス
- 推薦期間：＜年間コンテンツ賞＞ 2021 年 11 月 1 日(月)～2021 年 12 月 31 日(金)
- 授 賞 式：日 時／2022 年 3 月 14 日(月) 16:30～
会 場／明治記念館「富士の間」
- 趣 旨：コンテンツ制作者の立場からデジタルコンテンツ産業の発展のために、デジタルメディアの質的向上ならびに人材育成を目的として、「AMD アワード」を制定致しております。
- 対象作品：＜年間コンテンツ賞＞
対象期間：2021 年 1 月 1 日より 12 月 31 日
 - ① 対象期間中に、日本国内において発売・発表されたデジタルメディアにて表現されたコンテンツ及びサービス(期間内に国内において普及・注目されたものを含む)
 - ② 対象期間中に、最新のデジタル技術を駆使して国内で制作されたコンテンツ及びサービス(海外展開含む)
- 審査方法：「年間コンテンツ賞」については、実行委員会の指名する第 27 回 AMD アワードサポーターおよび一般推薦者により、AMD ホームページから推薦された作品を別に組織する審査会《審査員長：夏野 剛(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特別招聘教授)》にて審議し、各賞を決定しています。
- 賞の内容：＜年間コンテンツ賞＞
 - 1) 大賞／総務大臣賞
 - ◆ Digital Contents of The Year'21 The AMD Grand Prize ～総務大臣賞～
 - 2) AMD 理事長賞
 - 3) 優秀賞
 - ※1)、2)は、「優秀賞」受賞作品の中から選出され、授賞式当日の発表となります。
 - 4) 功労賞
 - 業界への長年の献身・功績のあった人物に対し与えられます。
 - 5) 江並直美賞(新人賞)
 - 対象業績が業界における第一線へのデビューを飾るものであることを前提に業界の発展に寄与したと認められる人物に対し与えられます。
 - 6) リージョナル賞(該当 1 作品の企画団体)
 - 地域に根ざしたデジタルコンテンツやサービスの中で、最も優れた功績を挙げた人物・団体に授与されます。

eかみしばいコンテスト

eかみしばいって
なあに？

eかみしばいは、
ネットで見れる紙芝居の動画だよ！



+



=



地図のずーちゃん



テーマ

「伝えたい四国の魅力」

素敵な場所、おもしろいモノ、おもしろい取り組み、話題の人、町やお店のPR、スクープやパラダイス情報etc…みんなにシェアしたいこと何でもOK。地域を愛し、より良くしたいという気持ち（シビックプライド）あふれる作品をお待ちしています!!

各賞

▼個人部門

最優秀賞【賞金 2 万円】、優秀賞【賞金 1 万円】
地元愛賞【賞金 5 千円】、アート賞【賞金 5 千円】、テクノロジー賞【賞金 5 千円】、四国特別賞【賞品 2 千円相当】

▼団体部門

最優秀賞【賞金 2 万円】、優秀賞【賞金 1 万円】
四国特別賞【賞品 2 千円相当】

募集期間

2021年5月10日(月)～8月31日(火)

発表

2021年9月25日(土)

詳細

コンテストへの応募方法、eかみしばいの作り方・公開の仕方、問合せはこちらから
<https://chi-zu.org/>



● eかみしばいのメリット

- ・ 人の声は感動を生む
- ・ 顔を出さなくて良い
- ・ 絵や写真、色々な方法
- ・ 地図の上のかみしばい

● まちのデータ地図ちーずに掲載♪



年配から子供たちや外国人の方もみんな使える♪
FIWARE を可視化した
地図プラットフォーム



募集要項

- ・ 今回は、四国在住の方に限らせていただきます。
- ・ 会社、お店、コミュニティのPR（例：コロナ対応情報）は、団体部門としてご応募ください。
- ・ 公序良俗に反するものは応募できません。コンテスト概要を必ずお読みください。

【主催】 eかみしばいコンテスト実行委員会、スマートシティたかまつ推進協議会

【共催】 情報通信交流館 e-とびあ・かがわ

【後援】 香川県、高松市、CMSケーブルメディア四国、香川大学、四国情報通信懇談会、日本電気株式会社

【協賛】 TSC テレビせとうち、こんまいプロジェクト、サンステップ



地域運営をデジタル化し、地域の魅力を向上させよう

パソコンやスマートフォンを利用して地域運営をデジタル化し、地域運営者（地域コミュニティセンター、NPO、各種協会、基礎自治体など）や利用者（市民、観光客など）を含めた地域のステークホルダー全員の地域での体験を向上させながら、魅力ある地域を実現するための手法を学びます。具体的な地域運営改善テーマとして

- (1) 地域の隠れた魅力を可視化する未指定文化財管理アプリ
- (2) 様々なヒト・モノ・コトの位置情報を地図上に可視化することによる地域運営効率化アプリ
- (3) 平時／災害時の共助促進のための地域資源共有アプリ

を制作し、地域住民に共有することでアプリの機能を検証し、地域の運営にとって本当に必要なアプリは何かを探究してもらいます。

あなたの地域課題解決アイデアを形にし、地域の改善に貢献してみませんか？

スケジュール

※詳細スケジュールおよびカリキュラムは裏面をご覧ください。

2月19日(土) 〈第1回〉パソコンやスマートフォンを使ったアプリ開発に必要な基本的なデータの作り方を学びます。終了後、地域でのアプリ実践を通じてデータを充実させるフィールドワークを行っていただきます。

3月12日(土) 〈第2回〉それぞれの研究成果を研究室全体で共有してもらいます。

時 間 13時30分～16時30分(3時間) ※両日とも ※途中休憩あり

講師／アシスタント

香川大学創造工学部 創造工学科・講師 米谷雄介
(専門：ナレッジマネジメントシステム開発)

香川大学創造工学部 上回生、大学院工学研究科 大学院生

対象・定員

対 象 | 高校生以上 ※18才以下は保護者の同意が必要です。
定 員 | 30名 ※先着順受付

受講料

無 料

新型コロナウイルス感染症対策

本イベントは会場の定員数を減らしソーシャルディスタンスに配慮して開催いたします。参加者の皆さんには検温、マスク着用、手指消毒のご協力をお願いいたします。

申込方法や詳細は裏面へ

情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ

〒760-0019 香川県高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー タワー棟4・5階
TEL:087-822-0111 FAX:087-822-0112 <https://www.e-topia-kagawa.jp>

開館時間 火曜日～金曜日 10:00～21:30、土曜日・日曜日・祝日 10:00～18:00

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は、翌日に最も近い祝日・休日でない日)、年末年始(12月29日～1月3日)

★SNSで情報発信中! Twitter=[@etopiakagawa](https://twitter.com/etopiakagawa) Facebook=<https://www.facebook.com/etopiakagawa> ※ご来館は、公共交通機関をご利用ください。

情報通信交流館

web検索

対象ユーザ

一般市民

課題を持っているがデジタル活用手法がわからない
地域コミュニティの運営者など

地域づくり、まちづくりに役立つデジタル活用手法を学ぶことができます。

行政職員

データ管理が得意だがそれをアプリ化する技術や適用可能な現場の課題がわからない方

デジタル活用による地域運営

市民やデジタル人材と協力して地域課題解決のニーズや必要なオープンデータを学べます。

デジタル人材

技術を持っているが適用可能な課題がわからなかったり、データに困っている方

地域のステークホルダーや自治体職員と関係性を構築しながら、貢献できる課題やデータ活用を学べます。

参加条件

- データやアプリを作って地域運営を効率化したい方、地域住民にとって魅力ある地域を作ることに興味、関心のある方で、全日程参加できる方
- 普段からパソコン、スマートフォンを学習や業務等で利用している方（アプリ開発のスキルは不要です）
- Wi-Fi にてインターネットに接続可能なノート PC を持参できる方（※OS、Version は問いません）
- 必須条件ではありませんが、地域貢献に関心があり、地域での活躍の場を探されている IT（情報技術）に詳しい方のご参加を歓迎
- 成果物の取り扱いについてはオープンソースとし、無償で誰もが自由に改良・再配布をできるようにします。

申込方法

情報通信交流館（e-とびあ・かがわ）のホームページよりお申込みください。HPIはコチラ▶

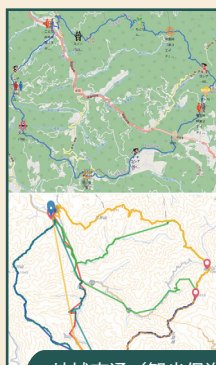


申込締切 **2月13日（日）**

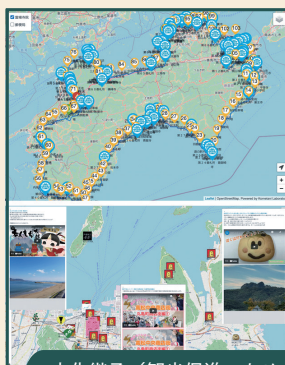
開講スケジュール／カリキュラム

#	開講日	トピック	活動内容
1	2/19（土）	パソコンやスマートフォンを使って地域運営をデジタル化しよう	地域運営（まちづくり）に資する地域運営アプリを実際に作ります。 1. 文化継承／観光促進のための未指定文化財管理アプリ開発 2. 地域交通／観光促進のための位置情報アプリ開発開発 3. 平時／災害時の共助促進のための地域資源／リスク情報共有アプリ開発
	2/20（日）～3/11（金）	地域でのフィールドワーク	プロトタイプを検証し、さらにデータを充実させるフィールドワークをおこなってもらいます。未指定文化財管理アプリ／位置情報アプリ／共助促進情報アプリを地域で共有しフィードバックを得ながら、データを充実させていきましょう。 フィールドワークにおいては、アプリ稼働に必要なサーバ機能、位置情報アプリ稼働に必要なモバイル通信端末を研究室にて貸与します。また、遠隔コミュニケーションツールを提供し、アプリ改善におけるトラブル解決や質問には、講師／アシスタントが対応します。
2	3/12（土）	研究成果発表会	・プロトタイプの検証結果を展示します。 ・香川県のオープンデータ活用方策について意見交換します。

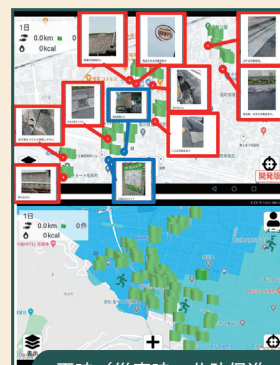
● まちのデータ研究室のテーマとして取り上げるデータ利活用アプリケーション



地域交通／観光促進のための公共交通／人流可視化アプリ



文化継承／観光促進のための地域活動／文化財共有アプリ



平時／災害時の共助促進のための地域資源／リスク情報共有アプリ